

のである。

(3) つぎに行先別使用査定によって、管区別の到着車を予想するのであるが、国鉄および社線の使用車の総計を到着車とみるのである。(亀田米吉)

じょうしゃかいすう 乗車回数 (英)riding habit **乗車度数**, **乗車習慣**, あるいは**乗車機会数**ともいわれその国、あるいはその地方における1箇年間の総乗車人員を人口で除した数である。これはその国またはその地方の交通の発達、産業文化の程度によって異なり、この数の歴史的变化は将来の旅客輸送計画に必要なものである。国鉄における各時代の乗車回数は、つぎの表のとおりである。

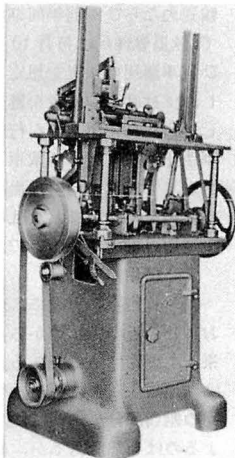
国鉄年次別乗車回数表

年 次	乗 車 回 数	年 次	乗 車 回 数
明 治 5 年	0.0171	7	11.9
10	0.0862	12	16.5
15	0.161	17	31.6
20	0.153	22	42.4
25	0.318	23	40.8
30	0.659	24	37.2
35	0.70	25	43.4
40	2.14	26	40.1
大 正 元	3.18	27	39.9
6	4.53	28	40.8
11	9.02	29	41.5
昭 和 2	13.0	30	43.1

(内田富彦)

じょうしゃけんいんさつき 乗車券印刷機 乗車券の印刷専門機械で、大切りおよび小切りされた乗車券原紙の裏面に連続番号・発行駅名・窓口略号等を、表面には区間・料金・經由線名等を印刷し、さらに小児券切取片の箇所には綴込用穴を明ける作業を、全自動的に1行程のうちに完成する構造となっている。

構造の要は図の右側に乗車券入筒があり、順次原紙を地模様を上にしてチャージすると、最下部の紙送り装置で1枚ずつ送られて原紙通路に入り、第1に裏面に連続番号を、第2に発行駅名を印刷し、第3に表面に区間・料金等を印刷し、第4に小児券切取片の穴明を行って、左側出筒に送り込まれ、下部から押し上げられて積重ねられる構造である。各版には自動的にインクを供給するようになっている。本機で印刷する乗車券はとくに正確を要するので、連続番号の数字に間違いの起らないよう、確実な動作をする機構が研究考案されている。もし原紙の厚さ不同等



乗車券印刷機

によって原紙が送られない場合、または2枚同時に送られた場合には、機械は自動的に停止して作業者に注意を与える。本機の印刷能力は1時間15,000枚である。(井田緑朗)

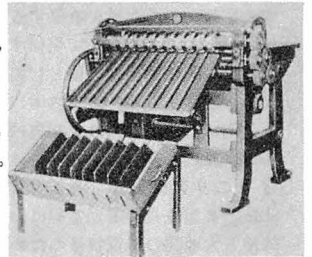
じょうしゃけんさいだんき 乗車券裁(さい)断機 大切り機と小切り機の2種類がある。

1 乗車券大切り機(写真-1) 乗車券の印刷は初めにとつ版印刷機で地模様を印刷し、これを乗車券大切り機で乗車券の長手の方向にリボン状に切断するのである。この機械に四六判4

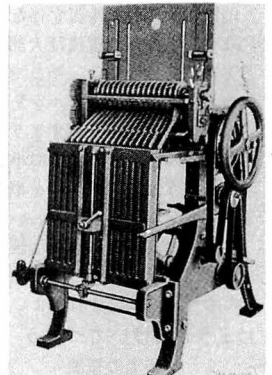
つ切りの原紙を手差しでさし入れるとローラで送られ、10組の上下丸カッターで乗車券の長手幅(57.5mm)に9枚のリボン状に切断されて、自動的に受箱に収納される。能力は乗車券にして、1時間約400,000枚切断する。

2 乗車券小切り機(写真-2)

乗車券大切り機で切断したリボン状の原紙を、さらに幅30.5mmのA型、または幅25mmのB型に切断する機械である。A型は万国標準で国鉄では列車区間用諸乗車券に使用され、B型は日本独特の大きさで電車区間用乗車券および入場券に使用している。構造は中央部原紙容器に大切り機で切断したものを、500枚ずつチャージすると、下部から1枚ずつ送り出され、送りローラを経て16組の丸カッターにより切断されて受箱に収納される。能力は1時間約115,000枚である。(井田緑朗)



1. 乗車券大切り機



2. 乗車券小切り機

じょうしゃけんのいっかつはつばい 乗車券の一括発売

定期乗車券は旅客各自が通勤・通学証明書または定期乗車券発行申込書を提出して、購求するのが原則であるが、会社・事業所等の中には、交通費の支給を現金でなく通勤定期乗車券を現物支給しているところが少なくない。これらは購求の際各自の通勤証明書を提出することなく、連記式の証明書をもってこれにかえ、しかも発売日の指定をうけて一括して購求できれば購求者にとって便利である。そこで同一事業所の5人以上の旅客が同時に定期乗車券を購求する場合であって、その使用開始日および通用期間が同じときは、その人員に対する通勤区間・氏名・年齢等を連記した事業所代表者の発行した証明書をもって、各別の通勤証明書に代用し、一括してこれを発売することができることとしている。なお通学定期乗車券にあっても、通勤定期乗車券の取扱に準じて発売日を指定して一括発売できることとしている。普通乗車券についても、たとえば自衛隊の除隊の場合のように、特定の旅客が臨時に同一駅から多数で旅行開始する場合に駅の混雑緩和のため、乗車券を一括発売することがある。(平林喜三造)

じょうしゃけんぼ 乗車券簿 駅において日々取扱った各種乗車券・急行券・特別2等車券・寝台券・入場券等(以下乗車券類という)の繰越し・受入れ・発売数量および運賃料金の収入、ならびに係員交替の際の引継事項を記入整理するため設けられた帳表であって、出札収入の原始記録として、その基礎的証憑書類となる整理帳表。

本簿は運送に直接関与する帳表ではなく、運賃料金の収入証票でもないが、出札における収入整理の土台となるもので、出札事務の運用上きわめて重要な作用を有する。出札事務にかぎって本簿のような特殊の帳表を必要とするのは、つぎのような2つの基本的な理由にもとづくものである。

1 乗車券類の様式が原則として単記式であることに原因し、旅客運賃料金の計算および収入現金の整理上、乗車券類の発売